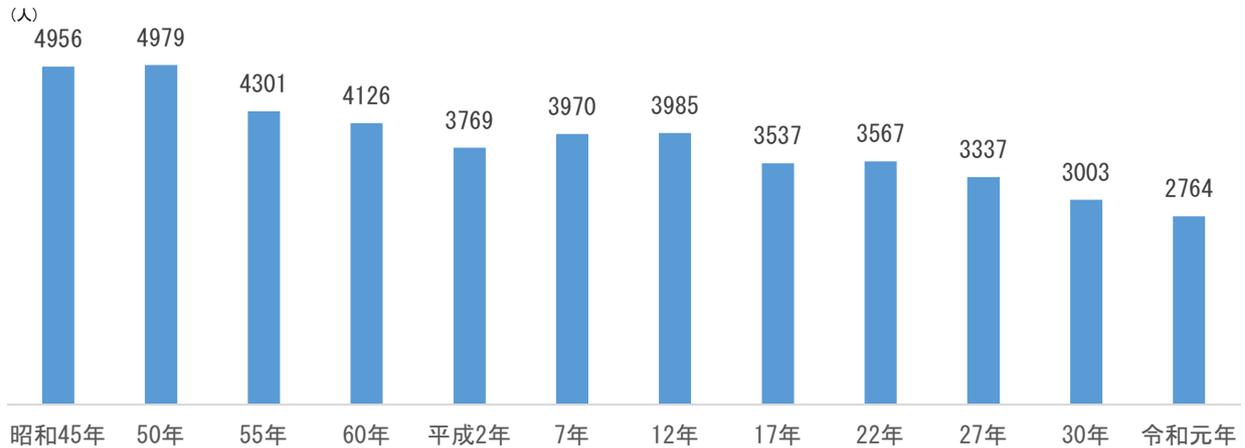


## 豊橋市の子育て・教育に関する主なデータと具体的な取組み

## 1. 子どもの数が減っています。

## (1) 出生数の推移

昭和45年の4956人から、50年でおおよそ半減しています。



資料 市民課

## (2) 児童人口の推移

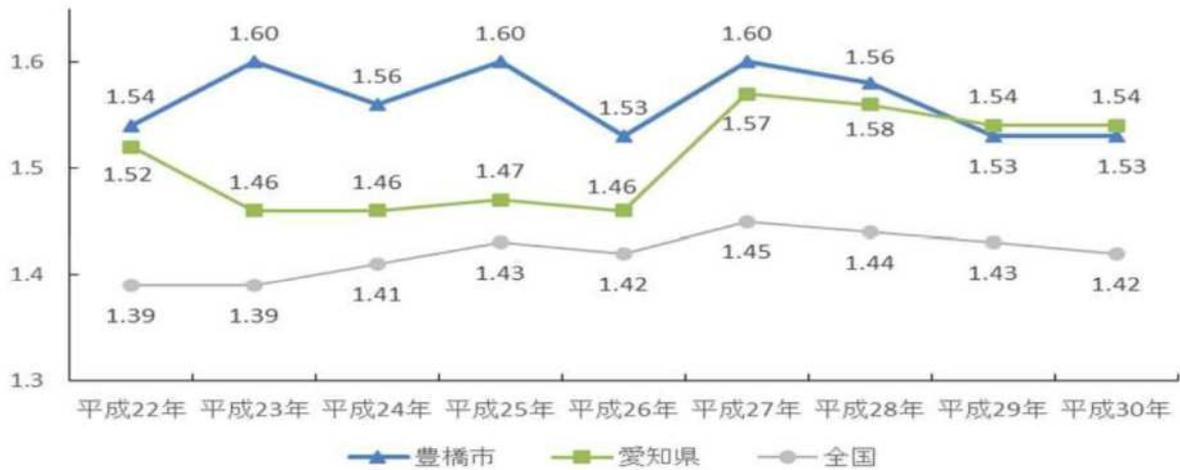
0～4歳の子どもの数が特に減っています。



資料：豊橋市「住民基本台帳」(各年4月1日現在)

(3) 合計特殊出生率の推移

自然動態で人口が増加するためには、2.07が必要とされています。

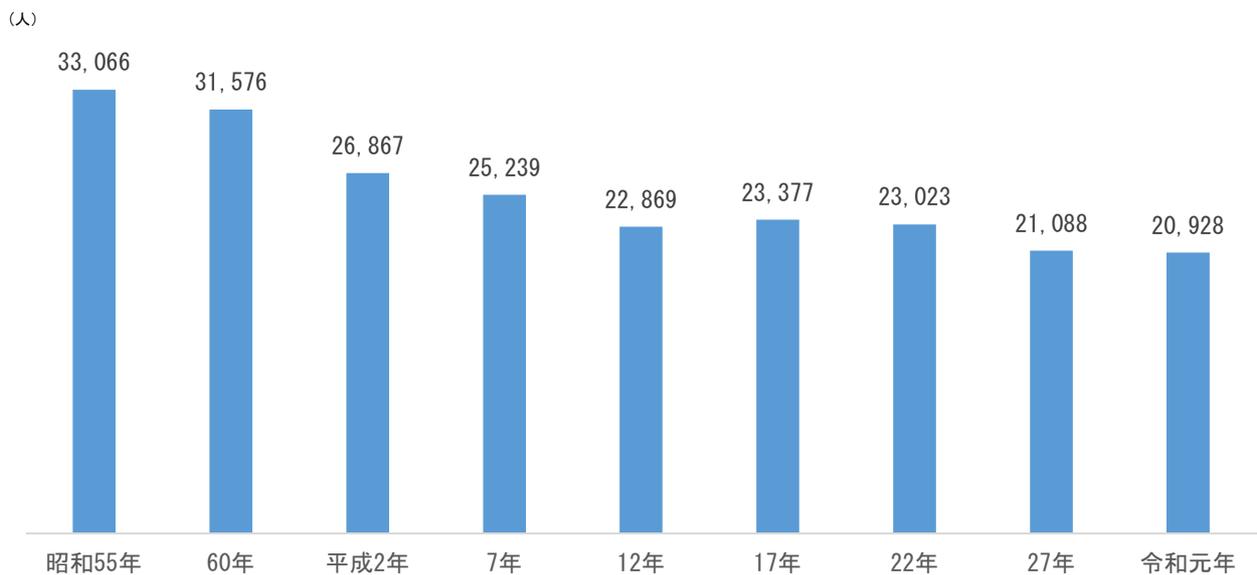


資料：全国、愛知県は厚生労働省「人口動態統計」、豊橋市は市で独自算出

※合計特殊出生率は各年の「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」

(4) 小学生数の推移

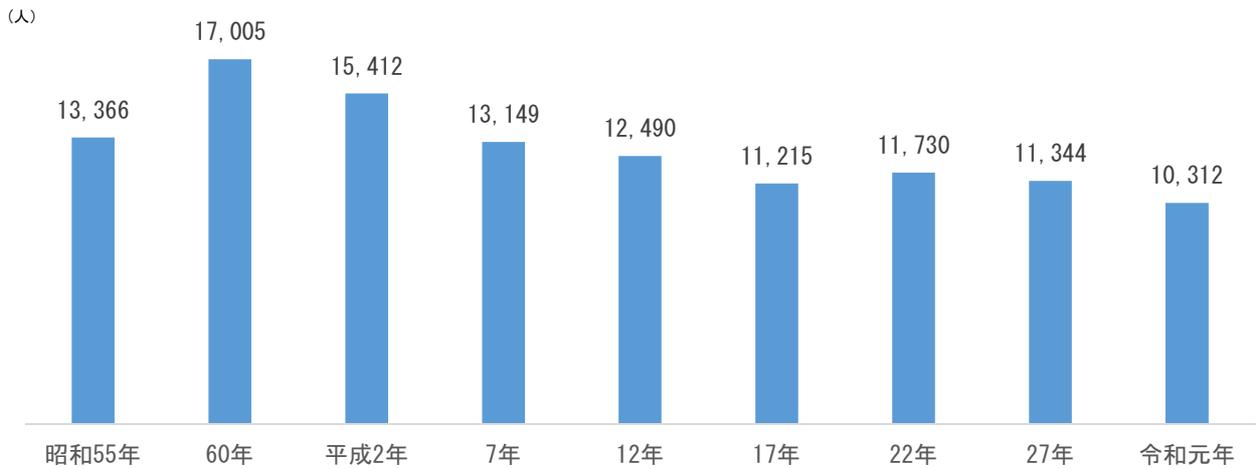
昭和55年から約40年で小学生数は約12,000人減少しています。



資料 豊橋市統計書

(5) 中学生数の推移

昭和60年をピークに、35年間で約7,000人減少しています。

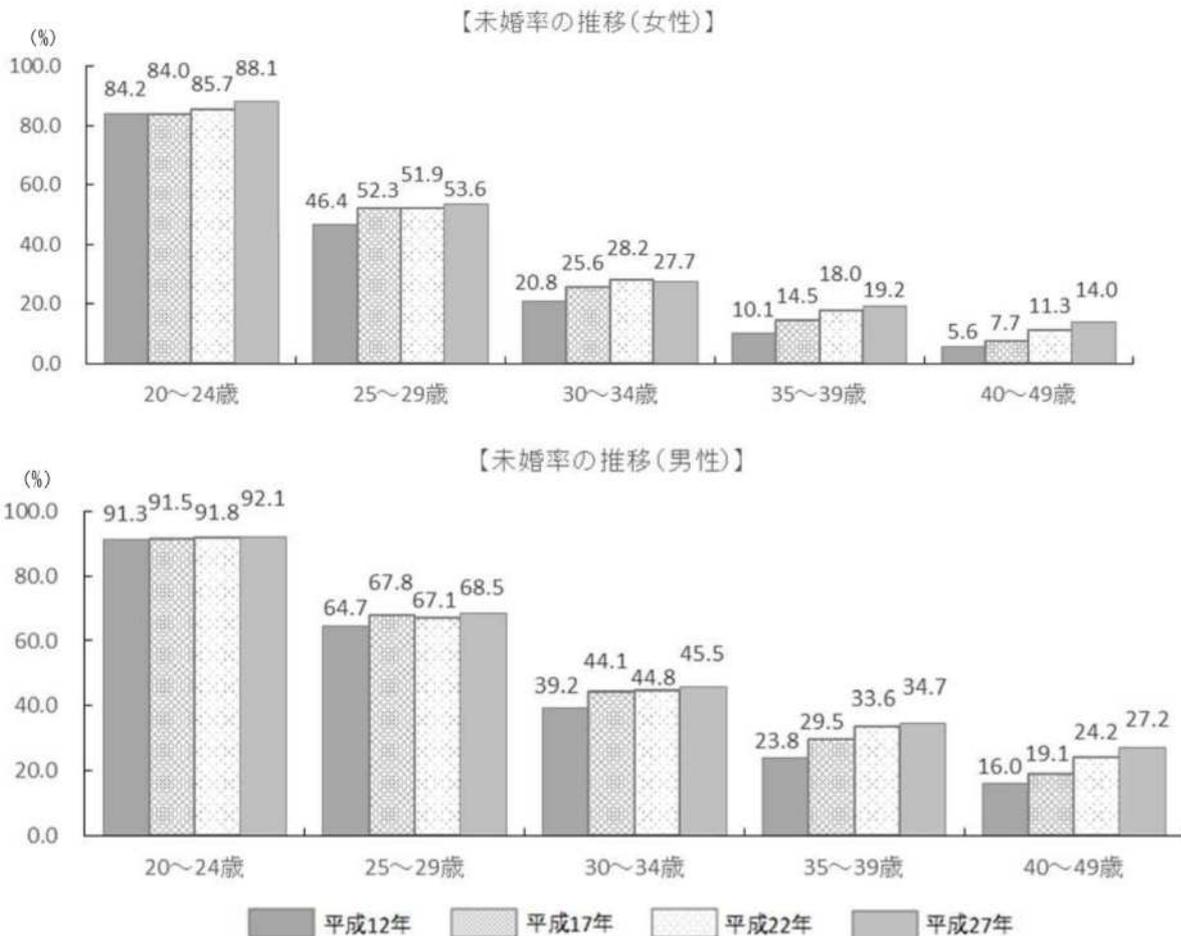


資料：豊橋市統計書

2. 未婚化・晩婚化が進んでいます

(1) 未婚率の推移

未婚率は年々上昇しています。

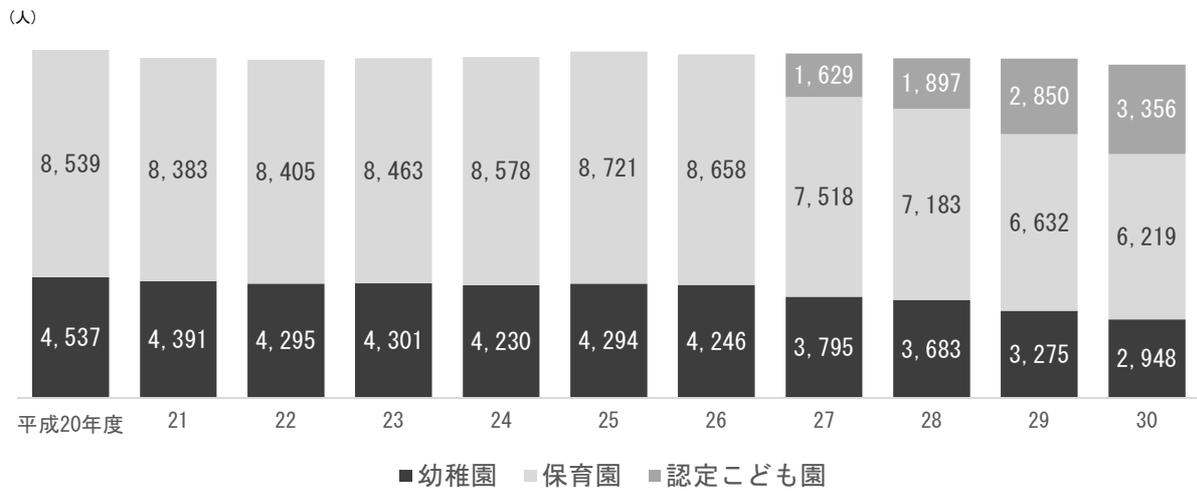


出典：国勢調査

### 3. 仕事と子育ての両立支援の状況

#### (1) 幼稚園・保育園・認定こども園の園児数の推移

子ども子育て新支援制度により認定こども園に入園する園児が増えています。



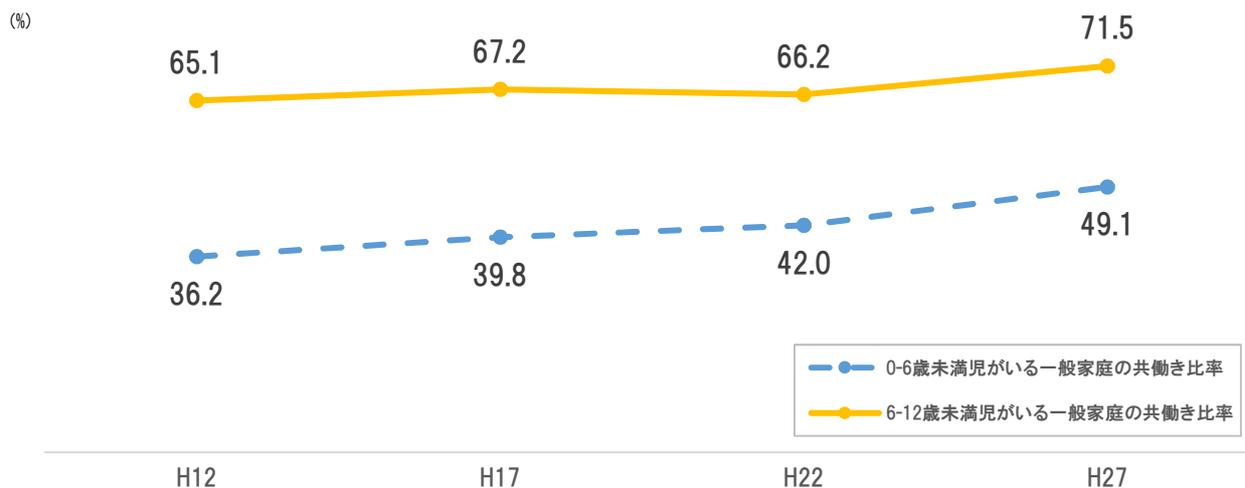
資料 豊橋市統計書

#### ●認定こども園とは

教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設。保護者が働いている・いないに関わらず利用可能。平成31年4月1日現在で市内に19園ある。

#### (2) 0-12歳未満児がいる一般家庭における共働き世帯の割合

0-12歳未満児がいる一般家庭の共働き世帯の比率は年々増えています。



資料/国勢調査

### (3) 放課後児童クラブ利用児童数とクラブ数の推移

平成 26 年から 4 年間で児童クラブは 19 か所、利用者児童数は約 1000 人増加しています。



資料 豊橋市

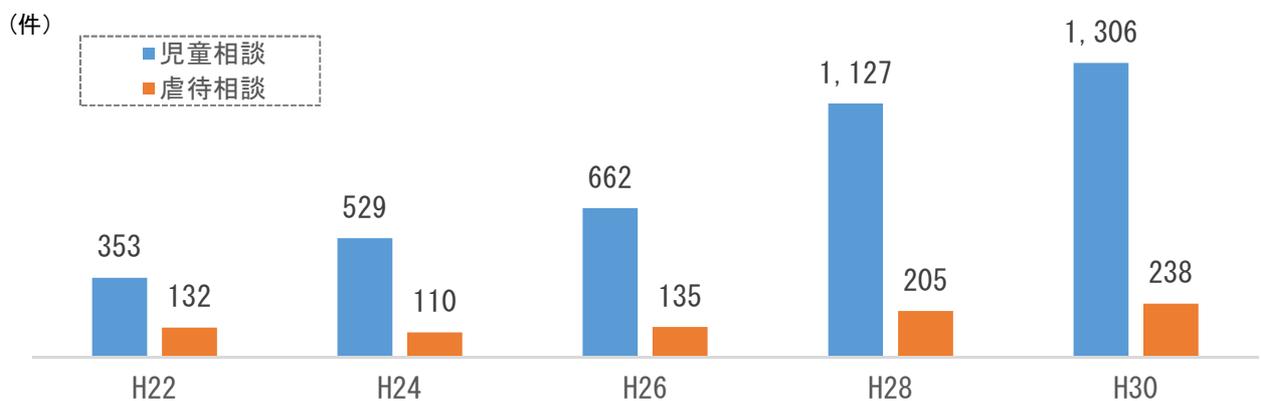
#### ●放課後児童クラブ

保護者が仕事などで昼間家庭にいない主に小学生児童を対象に、授業の終了後（放課後）に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るもの。市内 52 小学校区のうち、49 校区に 92 クラブ（平成 31 年 4 月現在）が設置されている（公営 53 クラブ、民営 39 クラブ）。

## 4. 困難な環境にある子どもの状況

### (1) 児童相談並びに虐待相談の件数

児童相談、虐待相談ともに年々増えています。



資料/国勢調査

## ＜参考＞ 主な市の取組み事例（子育て・教育）

### ○切れ目のない子育て支援（妊娠・出産・子育ての総合相談窓口）

保健所・保健センター「ほいっぷ」では、保健師や助産師がママサポーターとして、こども未来館「ここにこ」では保健師や保育士がチャイルドサポーターとして、妊娠から出産、子育てにわたる切れ目のない支援を両者が連携するほか、保育課での保育に関する相談窓口の充実を図っています。



こども若者総合相談支援センター「ココエール」

### ○子どもの貧困対策

子どもが貧困の連鎖から抜け出す力を育む場として、子ども食堂や無料学習支援の機能を持った「子どもの居場所」づくりをモデル事業として実施するとともに、社会福祉協議会が実施するフードバンク事業や学生服等のリユース事業に助成し生活困窮家庭等の負担軽減に取り組んでいます。また、子どもが将来安定した経済的基盤を確立できるよう、保育士の資格取得に対して支援を行っています。

### ○「豊橋市未来応援奨学金」の創設

経済的に困難な状況でありながらも、優れた得意分野を持ち、大学等で将来の夢に向かって努力する若者に対して、返済義務のない豊橋市独自の給付金を給付しています。

### ○こども若者総合相談支援センター「ココエール」の開設

平成 29 年 10 月に開設した、こども若者総合相談支援センター「ココエール」にて、子育ての相談や虐待、若者のひきこもりや就労など、子ども・若者やその家族が抱える様々な悩みを解決するため相談支援体制の充実に取り組んでいます。

平成 30 年度からは、臨床心理士による発達検査を実施し、子どもの特性にあわせた子育てのアドバイスをするとともに、子どもや若者が相談しやすい体制とそのPRをしています。



こども若者総合相談支援センター「ココエール」

## ○トヨッキースクールの開設

地域住民や退職教員など、地域の多彩な人材を活用するとともに、放課後児童クラブとも連携し、小学生向けに工作・運動などの体験活動を行う「トヨッキースクール」を実施しています（現在 10 校）。



初期支援校「みらい」

## ○ICT を活用した教育の推進

全中学校において学習用コンピュータを更新するとともに、新たにタブレット端末を配備し、協働学習や問題解決的学習など I C T を積極的に活用できる子どもを育てています。



授業イメージ

## ○外国人生徒の初期支援校「みらい」の設置

来日間もない外国人生徒や日本語の習得が不十分な生徒に対して、基本的な生活習慣や日本語指導を集中的に行う初期支援校を市内に 2 カ所（豊岡中学校と羽田中学校）開設しました。



初期支援校「みらい」

## ○「イマージョン教育」を新設

英語と日常的にふれあい、世界で活躍できる力を持った子どもを育てるため、毎日の授業を英語で行う「イマージョン教育」を実施します。

平成 31 年度は、モデル事業として八町小学校 3 年生の希望者を対象に、算数の授業を英語で実施し、来年度以降、全学年の教育課程（国語、道徳を除く）を英語で行うための準備を進めます。また、通学区域に関わらずイマージョン教育を受けられる特認校とするための準備を進めています。



授業イメージ